

道標ない旅 考えて行動できる人

～自立・創造・しなやかな心～



令和5年度 第31号
2024. 2. 26発行
葉山町立南郷中学校
校長 益田 孝彦
Tel. 046-875-9494
Fax. 046-876-0684

<https://www.town.hayama.lg.jp/nangou/index.html>

◇◇ 第31号のダイジェスト ◇◇

1. 最近学校のサポートに加わってくださっている方々を紹介しします。葉山町社会福祉協議会の さん。支援員の さん。学校を様々サポートして下さる さんです。
2. 1・2年生のご家庭は、生徒に防災頭巾を持って来させてください。
3. 今年度最後の南郷中・長柄小学校合同校内研究会が無事終了しました。一緒に学ぶ機会を通して、両校の教職員の距離が縮まったことはもちろん、総合的な学習の時間（含む生活科）の9年間の流れを理解し合い、系統性を吟味し合うことが出来ました。
4. 3学年で実施した「人権コンサート」、大変楽しい音楽のひとつを過ごすことが出来ました。

◆◆ 今までのメンバーに加え、最近新たに学校のサポートをして下さっている方々を紹介しします。 ◆◆



さん



さん



さん

南郷中学校で、ボランティアとして活動いただいている葉山町社会福祉協議会の さんは、月曜日にリソースルームのお手伝いをして下さっています。

さんは、支援員さんとして、年明けから活動いた

っています。

さんは、次年度本校で教育実習することが決まっていますが、この2月から学校のサポートをお願いしています。3名ともこれから長く支援頂くことになると思います。よろしくお願い申し上げます。

ここでは、2月に さんからいただいたメールを紹介させていただきます。

「リソースルームにお邪魔して……

今日は入室しましたら、いた女性徒さんから『今日は最後までいるんですか？』と声を掛けられました。帰りがけには、「さようなら」と先に言ってくれました。まだ2～3回しかお邪魔していませんが、少しですが認めてもらったようで嬉しかったです。

お邪魔するのは月に一回程度が精一杯ではありますが、ゆっくりでも回を重ねて顔を覚えてもらい、少しずつでも話ができたらいいなと思います。今後共よろしく願いいたします」

◆◆ 防災頭巾を学校に持ってきてください。 ◆◆

決して悪いことではないのですが、大きな揺れが襲ってきた阪神淡路大震災にせよ、中越地震にせよ、震度7が2度襲ってきた熊本地震などは、児童生徒が学校で学んでいる授業時間には発生していません。そのおかげで、各学校で実施されている避難訓練は、現実的な想定に基づかない形式的な物が実施され続けています。今回の能登半島地震のような震度6強、震度7といった揺れが、児童生徒が学校で学んでいる最中に起こったら、避難を上手く行えるのでしょうか？（ちなみに、東日本大震災は下校時間近くに襲ってきました。ものすごい巨大地震でしたが、震源が遠かったので、直接の揺れの規模は震度5が中心でした。私たちが学んだことは大津波への対処のあり方でした。）



昨年6月30日発行の道標ない旅第10号にて次年度から防災頭巾を備えてけることをお伝えしましたが、現1年生の状況を見ても、防災頭巾を持参してきている様子がほとんど見られません。それどころか、1月に行われた新入生説明会にて、「防災頭巾を中学校でも継続使用する」旨の連絡事項を説明会資料に加え忘れるミスをしてしまいました。

震度6以上を経験している最中に頭巾をかぶるのは難しいことです。防災頭巾が必要となるのは、窓ガラス等が破損した校内から避難する際に、余震等が起こり、生徒の頭上に落ちてくる鋭利なガラス破片から首筋等を守るときに活躍が期待されます。（日常的には防災意識の喚起や、体育館等での座布団代わりで活用）小学校で使っていた防災頭巾でも、上記の役割が果たせれば十分です。4月までに持参していただきますようお願い申し上げます。

◆◆ 今年度最後の南郷中・長柄小学校合同校内研究会が無事終了しました。 ◆◆



令和7年度の施設分離型小中一貫校化をにらんで、本年度は両校の校内研究を合同で取り組む試みを行って来ました。回数を重ねてきたおかげで、両校の教職員の距離が縮まったことはもちろん、総合的な学習の時間（含む生活科）の9年間の流れを理解し合い、系統性を吟味し合うことが出来ました。

来年度はその合同研究の成果を11月13日に公開発表する予定にもなっています。それまでに今年度の成果をブラッシュアップしていく予定です。生徒が積極的に学んでいくような探究的な学習になれば良いかと願っています。

◆◆ 今年の3学年「人権コンサート」楽しく盛り上がりました。 ◆◆



2月20日（火）、視聴覚室で開かれた人権コンサート。町の人権擁護委員さんも6名ほど参加下さり、ピアノ奏者で作曲家でもあるさんと、ビオラ奏者のさんをお迎えして開催されました。

普段ベースギターのようにオーケストラの音楽を下支えする役割の多いビオラですが、メインの旋律を主人公として披露できるのがとても楽しいと語るさんと、高校時代に母校の校歌を作曲したというさんの軽妙なトークでとてもステキな時間を過ごしました。

南郷中校歌をボサノバ調やサンバ調にアレンジして披露してくださるなど、音楽の奥深さ・楽しさを感じさせていただきました。3年生が卒業式に披露する曲も一緒に味わうなど、3年生にとってもとても意味深いひとときだったと感じました。様、様本当にありがとうございました。